

資産評価基準・採用デフレーター - 比較(建設中の金利)

会計方針 比較

項目	日本道路公団	首都高速道路公団	阪神高速道路公団	本州四国連絡橋公団	検討課題の整理
1. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 (1) 償却資産にかかる建設中の金利の資産原価算入	償却資産にかかる建設中の金利は、資産原価に算入している。算入額の計算方法は、建設期間が、道路の建設着手（高速道路は施行命令、一般有料道路は事業許可）から開通まで平均的に10年を要することから、現在から10年前に遡って建設を開始し、現在をもって完成したと仮定して、年度ごとの投資パターン比率から、年度別の再調達原価（建設中の金利を除く）の累計額を算出し、それぞれに対応する各年度の適用利率（仮定した10年間の投資年度ごとの借入金等残高平均金利を適用）を乗じて合算して、建設中の金利を算出している。	道路事業固定資産に係る建設期間中の金利（土地及び地上権に係るものを除く）は、資産原価に算入している。	同左	道路事業固定資産（土地を除く）に係る建設中の支払利息及び債券利息については、取得原価に算入している。	開始B/S関係 4.(10)

資産評価基準（償却資産） 比較

項目	日本道路公団	首都高速道路公団	阪神高速道路公団	本州四国連絡橋公団	検討課題の整理
. 構成要素 1. 建設中の金利	建設期間が、道路の建設着手（高速道路は施行命令、一般有料道路は事業許可）から開通まで平均的に10年を要することから、現在から10年前に遡って建設を開始し、現在をもって完成したと仮定して、年度ごとの投資パターン比率から、年度別の再調達原価（建設中の金利を除く）の累計額を算出し、それぞれに対応する各年度の適用利率（仮定した10年間の投資年度ごとの借入金等残高平均金利を適用）を乗じて合算して、建設中の金利を算出	実績にデフレーターを乗じて算定	同左	同左	開始B/S関係 4.(10)
. 詳細 1. 建設中の金利 原価算入範囲 原価算入額	建設期間中に発生する金利 建設期間が、道路の建設着手（高速道路は施行命令、一般有料道路は事業許可）から開通まで平均的に10年を要することから、現在から10年前に遡って建設を開始し、現在をもって完成したと仮定して、年度ごとの投資パターン比率から、年度別の再調達原価（建設中の金利を除く）の累計額を算出し、それぞれに対応する各年度の適用利率（仮定した10年間の投資年度ごとの借入金等残高平均金利を適用）を乗じて合算して、建設中の金利を算出 ・借入金等残高平均金利 = JH負担金利/総資金平残 ・各年度における投資については、年度中央において実施されたものと仮定し算定 ・建設中の金利に関する比率の算定にあたっては、前年度以前の利息から発生する利息（複利分）については考慮していない	同左 1)過去の工事完了検査調書及び決算書類等に基づき、供用区間毎に把握して計上 2)再調達原価 = 取得原価 × デフレーター ・使用デフレーター：「建設工事費デフレーター」（首都）	同左 1)過去の決算書類等に基づき、供用区間毎に把握して計上 2)再調達原価 = 取得原価 × デフレーター ・使用デフレーター：「建設工事費デフレーター」（阪神）	同左 1) 同左 2)再調達原価 = 取得原価 × デフレーター ・使用デフレーター：「建設工事費デフレーター」（本四公団）	開始B/S関係 4.(10)
その他補足事項				・供用区間毎の個別資産に金額比例按分	

採用デフレーター 比較

項目	日本道路公団	首都高速道路公団	阪神高速道路公団	本州四国連絡橋公団	採用理由
. 償却資産 1. 建設中の金利	-	実績にデフレーターを乗じて算定 「建設工事費デフレーター」（首都）	実績にデフレーターを乗じて算定 「建設工事費デフレーター」（阪神）	実績にデフレーターを乗じて算定 「建設工事費デフレーター」（本四）	

（「 」書き：採用デフレーター）